

TAKERU ENDO



遠藤タケルさん
西区在住

KENZABURO TAN



丹健三郎さん
見沼区在住

未来の担い手に聞く!

次の20年は?

さいたま市誕生

20
周年

2021年、さいたま市は誕生20周年を迎えます。今回は、新成人代表の4人に、自らの人生とさいたま市の歩みを重ねながら、市に持っている印象や期待、抱負を聞きました。

都市と自然が共生した「緑が多いまち」

全員 明けましておめでとうございませう。今日は「さいたま市は〇〇のまち」をテーマに、皆さんがさいたま市にどんな印象を持っているのかを聞かせてください。

東山 私にとってさいたま市は「緑が多いまち」という印象があります。近所に公園が多く街中にも緑が多いので、歩いているだけでリラックスできるまちだと思います。なかでもお気に入りの場所は、北浦和公園です。遊ぶだけではなく、子どもの頃には自転車や一輪車の練習をはじめ、たくさん運動をした思い出があります。

市長 さいたま市は東京から近いにも関わらず、中心部に大宮公園や別所沼公園などがあり、

少し離れると見沼田んぼや荒川の河川敷など緑地空間が数多くあります。都市と自然が共生しているのが本市の魅力です。

「芸術と歴史、文化のまち」

森本 私にとってさいたま市は「芸術のまち」です。子どもの頃からピアノやエレキトーン、吹奏楽・合唱を大宮ソニックシティや文化センターなどの大規模なホールで披露できたことは、私の人生の糧になっています。

また、「歴史と文化のまち」だとも思っています。通っていた学校の近くに歴史ある神社があり、入試や大事なテストの前にお参りに行ったのが今では良い思い出です。私の住む中央区では、与野七福神巡りがお正月に行われます。自転車に乗ってそれぞれの寺社を巡りながら記念の押印を集めることが私の毎年の楽しみです。

市長 実はさいたま市は全国でも有数の「アーティストが多いまち」なんです。「さいたま国際芸術祭2020」をはじめ、市内で開催される文化や芸術のイベントには数多くのアーティストが参加してくださいませ。

MIYU HIGASHIYAMA



東山未侑さん
浦和区在住

MARIE MORIMOTO



森本茉莉衣さん
中央区在住

新春対談 20年間ともに歩いた

若者が夢見る

それから「歴史と文化のまち」ということでは、城下町岩槻や徳川吉宗公の時代に開拓された見沼田んぼなど、歴史や文化の物語が市内各地に多く残っています。それらの物語を通じて、さいたま市がどのように発展したかを知ってもらいたいですね。歴史を知ること、普段住んでいるまちを新しい視点でとらえてもらえるはずです。

「人の多さが魅力のまち」
「住みやすいまち」

丹 私にとってさいたま市は「人の多さが魅力のまち」です。小・中・高とバスケットボール

に打ち込んできて、中学生のときには県選抜にも選ばれました。選抜チームでは見ず知らずの人達とプレーすることになるのですが、さいたま市の出身者は必ずいるので、いつも心強く思っていました。その時に仲間になった人達とは、当時の思い出を語り合える友人として今でも付き合っています。同郷の人が多いということは魅力の一つだと思います。

遠藤 私にとってのさいたま市は「住みやすいまち」。交通の便が良く、災害にも強い。買い物にも困らないので住みやすく感じています。

身近にサッカーやソフトボール、水泳などのスポーツができる公園や施設があることはありがたかったです。子どもの頃、近くに番場公園ができていく過程を見たため、公園には思い入れが強いです。また、中学時代に陸上競技をしており、大会などでよく足を運んだ駒場スタジアムも思い出深いです。県内で他に大会を開くとすると、遠方の会場まで行かなければならず、近くに競技場があることに感動していましたね。

HAYATO SHIMIZU



清水勇人
さいたま市長

「歴史」ある神社へのお参りやお祭りを巡るのが楽しいです。「芸術」活動の発表の場が多くあることも人生の糧になっています。

— 森本茉莉衣さん



スポーツが果たす「人をつなげる力」

市長 丹さんと遠藤さんから、「人」や「スポーツ」の話が出ましたね。さいたま市は「スポーツ」をまちづくりの柱の一つにしているんです。スポーツには教育や健康の維持はもちろん、地域を活性化する力があります。人と人との関係性が希薄

新成人が語る「これからへの期待」

になっている時代だからこそ、スポーツが果たす「人をつなげる力」が重要だと考えています。皆さんの安全を確保するため、公園でスポーツをすることは難しくなっていますが、それでも広い公園では仕切りをつくり、しばらく使わない土地を開放したりするなど、幅広い年代の皆さんが少しでもスポーツを楽しめる環境を整備しています。

市長 さいたま市は2021年で20周年、人と言うと成人を迎えます。皆さんは、自分が育ってきたまちが今後どのようなになっていくことを期待しますか？あるいは、どのように関わっていききたいですか？

東山 私は東京2020オリンピック競技大会のボランティアに応募しているんです。さまざまな国や地域から多くの方がこのまちに訪れることになると思うので、さいたま市の魅力をたくさん伝えたいですね。

市長 さいたま市で試合が予定されているサッカーとバスケット

トボールは人気の高いスポーツですから、海外からも多くの方が来てくれるはずですよ。ぜひPRしてください。

東山 住みたいまちのランキングで浦和や大宮がいつも上位にあがってきますよね。オリンピックで世界中から人が集まるので、SNSを使って認知度を上げていきたいです。

森本 さいたま市にはスーパ

アリーナや県立近代美術館、彩の国さいたま芸術劇場など素晴らしい施設や場所がたくさんありますよね。私は芸術が好きなので、さまざまな施設を楽しく回れたら嬉しいですね。各スポットをつなぐ街並みおしゃれな飲食店や雑貨店をつくるなど、各地が連携したまちづくりをすれば、観光で訪れる方も増えるんだろうと考えています。

生まれ育ったまちでオリンピックが開かれることについては、私も嬉しく思っています。世界中から注目を浴びるこの機会にさいたま市の魅力や誇りを発信したいです。



「東京から近い」にも関わらず、街中にも「緑」が多い。遊びも運動も、お気に入りの公園でたくさん思い出があります。

— 東山未侑さん

丹 オリピックが開催されればさいたま市の人氣が上がるのは確かです。私自身、さいたまスーパアリーナで試合をしたことがあるのですが、同じコートで世界のスーパスター達がプレーするかと思うと、とても誇りに思います。さいたま市というと「これといって突出したものがない」という印象を持ってしま



同郷の「人」が多いということは魅力の一つ。小中高のバスケの友人と今でも付き合いが続いています。

— 丹健三郎さん

信につながるようなこともたくさんあります。そういったさいたま市ならではの個性や魅力をもっと発信したいですね。

遠藤 最近悲しいのは、危ないからと公園の遊具が取り外されたり、ボールの使用が禁止されたり、スポーツや遊びができる場所や機会が減っていることです。「スポーツのまち」である以上、スポーツができる公園や施設は残していきたいですね。

もう一つ私が主張したいのは「まだ東京に憧れているのか」ということ。さいたま市を見渡すと、たしかに突出したものがないと思います。ただ、だからこそ住みやすいと考えています。誰にでも馴染みやすいまちであるということは、これからの時代の強みになるのではないのでしょうか。だから市民はさいたま市に住みやすいまちだということに自信を持つべきです。



サッカーやソフトボール、水泳ができる「公園や施設」があることが嬉しい。
小さい頃、近所に公園ができていく過程が印象的でした。
— 遠藤タケルさん

**市民の連携がつくる
「住みやすい」、
「住み続けたい」まち**

市長 皆さん本日はありがとうございます。皆さんがさいたま市に思いを持ってくださっていることを非常に嬉しく、また、ありがたく感じました。さいたま市は「住みやすい」、「住み続けたい」まちと評価されています。これは、多くの市民の皆さんがそのために種をまいてくれたことが花開いた結果です。今後も

「住みやすい」、「住み続けたい」まちであり続けるためには、これからも種をまいて、水をあげて、花を咲かせる取り組みを続けていく必要があります。それには行政だけではなく市民の皆さんや事業者の皆さんとの連携が欠かせません。新成人の皆さんには周囲の皆さんとのつながりを大切にしながら、「もつと住みやすく、もつと住み続けたいまち」をつくっていただきたいと思います。

今後も「住みやすい」、
「住み続けたい」まちであるために、
これからも種をまいて水をあげて、
花を咲かせる取り組みを
続けていきましょう。
— 清水市長



今月の表紙

新成人の髪を飾る
「つまみ簪」
伝統的な技法は
今も市内に鮮やかな
花を咲かせています



撮影協力：宇美濃（伝統産業事業所）
所在：大宮区北袋町

令和3年さいたま市成人式は、新型コロナウイルスの影響により、開催方法を変更する場合があります。最新情報は、市ホームページでご確認ください。



市報さいたまの感想を「#市報さいたま」をつけてTwitterで投稿してください！
市ホームページやはがき（〒330-9588 浦和区常盤 6-4-4 広報課）でもお待ちしております。